

第二期富士市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリック・コメントに対する意見及び回答案

番号	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	<p>P86の児童館、利用推進にかんして。 市内4施設にて実施と有りますが、富士川圏では、どのような対応になるのでしょうか。児童館無いのですが。富士川圏は、富士市では無いのですか？富士川圏の小中、高生は、何処に公共施設の居場所がありますか？未就学児には、子育て支援センターがかるうじて有りますが、姉弟で小学生と幼稚園児と別れてしまったとき、長期休暇時や、日常でも、何処で揃って遊べますか？公園、商業施設だけですか？おかしくないですか？車に乗せてひたすら遠くまで行かねばなりません。子供達だけで遊ぶにも、歩いて行ける範囲で行ける場所に無いのは、平等では無いと思うのですが。学校の校庭でも開放してないならば、何処で遊べばよいのですか？室内で遊びたい子供だって居るはずですが。そういう意見は無いものなのですか？</p>	<p>児童館の施設整備につきましては、本事業計画の前身である富士市次世代育成支援計画において市内を4つに分けたブロックごとに1館ずつの設置を位置付けてまいりました。平成30年4月の4館目となる北西部児童館の設置をもちまして、児童館の設置については、目標を達成したものと考えております。 富士川圏域の子育て親子の皆様につきましては、市内西部に位置する北西部児童館やぐるん・ばよねのみやを、ご利用の拠点としていただきますようお願いしたいと考えております。</p>	<p>反映できないもの</p>
2	<p>いつもお世話になっております。 私の所属するNPO法人妊娠・子育てネットふじでは、こども未来課との市民協働事業として「子育て支援ネットワーク構築事業」を昨年度から取り組んでおります。現在50以上の団体が、Facebookやメール、交流会やおしゃべり会で情報交換や親睦を図り、コラボ企画なども実現しています。また、市の子育て支援関連の課に情報提供をしたことで、ネットワークを活用してもらえる機会が増え、ネットワークの意義を実感しているところです。 ただ「富士市子ども・子育て支援事業計画(案)」の中に、ネットワーク構築事業の記載がないので、今後どのように展開していけるのか、とても不安です。多くの人力で築き上げたネットワークなので、今後もっと強化して富士市の子育て支援を手厚くしていきたいと強く願っています。</p>	<p>市内には、妊娠期の方や子育て期の親子を支援することを目的として活動する多くの子育て支援サークル(以下「サークル」という。)があります。サークル同士の情報交換やサークル活動の活性化、市全体の子育てを協働して実現する体制を構築するためには、サークルのネットワーク化は重要であると考えております。 本計画案87ページ「子育てを地域全体で支える環境づくり」の「地域子育ての支援体制の充実」の項目において、具体的な事業として「サークル支援」を盛り込んでおりますので、ネットワーク化の推進や活用などについても、推進してまいります。</p>	<p>既に盛り込み済み</p>
3	<p>第1節-2(3) 37ページの子育て支援センター利用者数の推移を見ると、センターによって、利用人数に大きな差があるように感じます(開館日数を考慮しても)。利用人数の多いセンターは、担当の先生方が来場者に対してきめ細かい配慮をし、親の評判もとても良いと聞いています。そのような支援の実践方法を教え合うことで、富士市の子育て支援センターの質がより向上していくと思います。量の確保も大事だとは思いますが、それ以上に質の向上、特に対人援助技術の向上が子育て支援センターには求められると思います。  追伸:子育て支援センターの利用者数が多い＝破損するおもちゃも多く、維持費が園の持ち出しとなっている現状を聞きました。利用人数に応じた補助金の加算も検討していただきたいと感じました。</p>	<p>令和2年1月現在、市内において、公立と民間を合わせ合計16施設の地域子育て支援センターを設置しております。年に4回、すべての地域子育て支援センターの担当者が一堂に会し、支援の質を向上するための研修を実施しております。 今後も支援の質の向上に努め、子育て親子の利用の増加につなげてまいります。</p>	<p>既に盛り込み済み</p>

4	<p>第1節-2(8) 76ページ、利用者支援事業基本型とは「子ども及びその保護者が…身近な場所において、相談支援を実施する事業」と書いてあります。身近な場所＝圏域ごとに基本型を置いてもいいように感じます。</p> <p>各圏域の、子育て支援センターのような親子が気軽に足を運べる場所に、社会福祉士や保育士を配置して、圏域内の園・子育て支援センター・民生委員・地区保健師・民間の支援団体や事業所などと連携を密にして、アウトリーチ支援をグイグイ行ってほしいと思います。</p>	<p>市では「子育て総合相談センター」において、様々な相談支援を行っていますが、市内16か所の子育て支援センターをサテライト的な役割を果たしているものであると位置づけており、定期的な訪問、連絡会、情報共有等により連携を密にして利用者やセンター職員の支援を行っております。</p> <p>地区担当保健師やケースワーカー、関係機関等と連携して支援を実施しておりますが、民間の支援団体・事業者・その他の関係者等の連携を深めて、利用者支援を行ってまいります。</p>	既に盛り込み済み
5	<p>第1節-6(1) 子育て応援隊の実績がわからない。</p> <p>市内には、訪問支援を行う事業所が少しずつ増えています。</p> <p>子育て応援隊・ファミサポをはじめ、市内の家事代行・産前産後ドゥーラ・訪問相談支援など、アウトリーチ支援を行う機関や事業所の一覧を作成して、子育て中の親が自分にあったサービスを選択できるようなPRをしてほしいです。</p>	<p>子育て応援隊の利用者は、概ね年間5件前後で推移しています。また、アウトリーチ支援を行う各種事業の案内については、計画書への記載ではなく、子育て情報誌等を活用して行ってまいります。</p>	既に盛り込み済み
6	<p>担当課の明記</p> <p>「富士市子どもの未来サポートプラン」には、各事業に担当課が書いてあり、横断的にサポートをしていくことがわかります。「富士市子ども・子育て支援事業計画」の内容も、こども未来課だけでなく、保育幼稚園課・こども家庭課・地域保健課・多文化男女共同参画課など、他課が担当する事業も盛り込まれているので、担当課を明記した方がわかりやすくなると思います。</p>	<p>他計画のように担当部署が多岐にわたらず限定的であり、特定の部署が多くを対応することになるため、管理責任主務部門は掲載しないこととします。</p>	反映できないもの